

堅く急峻な山と蛇行する四万十川。四万十川流域の先人達は、その隙間を見つけては、場所と条件に合わせて限られた土地をうまく利用しながら暮らしてきた。土地利用の仕方を見れば、先人達の知恵とその時々を選択を知ることができ、また棚田といった景観がそれらを象徴している。生活のための仕事、つまり生業が四万十川流域の“らしさ”を創り、そして暮らしを豊かにしてきたことは言うまでもない。

しかし、近年、高齢化や後継者不足によるマンパワーの不足から生業が成立しづらい状況となり、そして現代のワークスタイルが生活と仕事を分離させつつある。それらは全国的にも、四万十においても、厳しい現実として突きつけられている。

今を生きること、未来へつなぐこと



↑主催者からの説明を受ける参加者



↑田植えの様子



↑苗とカエル

先日、四万十町大正地区の中津川で“日帰り百姓求む 田植え稲刈り体験ツアー”というイベントが開催された。昨年までは、田んぼでリレーなどの競技を行い泥んこになって遊ぶ“どろんこ運動会”として開催していたイベントを、今年度集落のなかで耕作放棄地が出てきた事情に合わせて、田植え体験のイベントへとシフトした。集落として、耕作放棄地をそのままにせず活用したい、今後増えてくるであろう耕作放棄地に対して集落内で助け合える仕組みを作っておきたいという意思の表れと挑戦である。

参加者は20代から40代の男女、それから3歳と0歳の子どもであった。市街地に住んでいるため田植えの機会に恵まれないことや、周りに田んぼはたくさんあるが関わる機会がほとんどないといったことが参加動機になったようである。作業の流れとしては、事前に整えられた田んぼに防草用の紙マルチ(溶けて自然にかえるものを使用)をひき、その上から苗を植えていくだけの単純なものであったが、参加者にとっては小さな気づきの連続であった。「田んぼの中は思ったよりあったかくて深い」「稲がまっすぐ植えられない」「おばちゃんの手際が良くて感動した」「カエルやミズカマキリなどたくさんの生きものがある」「最初は楽しいけど、ゆっくり作業していると腰にくる」「これだけ植えて家族が1年食べていけるくらいの量なんだな」

正直なところ、おそらく田植え自体は他所から来た素人にやらせるより、集落内のベテラン勢で行った方が効率が良い収穫量もあがるであろうし、イベントとして実施することで事前準備等の負担が増えるのは間違いないそれでも体験イベントとして田植えを実施するのは、長い目で見ると上記のような小さな気づきや体験が、将来、と言っても40代50代もしかしたら60代になってからかもしれないが、若い世代が営農をはじめるときに繋がるかもしれないという期待があり、そこへの労力は惜しんではいけないという集落の意思があるからだろうと感じた。また、子供の少ない中津川集落に赤ん坊や子供が来て楽しんで行ってくれることや、参加者に自分たちの作ったごはんをおいしいおいしいと食べてもらえること、集落全体で物事に取り組む機会を増やすこと等をメリットと評価し、負担がかかるというマイナスな気持ちばかりに振り回されない強さもあると感じた。

四万十うまいもん体験団

この時期は中津川に限らず、四万十川流域のあちこちで田植えに関する体験イベントが開催される。そのうち JA 四万十主催の「四万十うまいもん体験団」について簡単に紹介したい。

こちらは親子参加型のイベントで、“いいとこどり”をテーマに営農や食について体験し、子ども達に地元に着愛をもってもらおうというイベントだ。年3回を予定しており、田植え体験に引き続き米の収穫体験等を含むイベントが企画される。



↑さつまいもの苗植え体験



↑田植え時の印づけ



↑昼食のバイキング



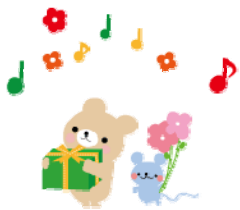
↑田んぼの生きもの観察



↑ブルーベリーの収穫体験



↑田植えの様子



四万十川財団会員協力店が増えました！

四万十川財団会員協力店てなに？？？

四万十川財団では、ともに四万十川を守り盛り上げてくれる会員さんを募集しています。そして、四万十川のためにと善意で協力してくれる宿泊施設や飲食店と連携して、会員さんへ利用料の特別割引を行っています。例えば、梶原町の天狗荘で1泊2食付の基本料金が10%割引になるなど！

そんな会員協力店に新たな仲間「すし処 すず木」さんが加わりました！高知市の電車通りと中の橋通りが交差する所に、高知では珍しい「赤酢」を使った赤シャリ寿司のお店を昨年 OPEN。店主の鈴木さんは、中学校卒業後、神奈川の寿司店に修業に出、赤シャリを学ばれています。ほんのり赤く酸味がキリリとしたシャリに江戸前の仕事効いた小粋なお寿司が味わえますよ！四万十川財団の会員証を提示すると、デザートがサービスしてもらえます。高知市内においでの際は是非お立ち寄りくださいね！

(主な会員協力店はこちら <http://www.shimanto.or.jp/link/partner.html>)



●四万十川財団 会員募集

【コース】 2000 円会員、5000 円会員

【期間】 2 年間

【特典】 四万十川財団協力店における割引優待

5000 円会員には 2000 円相当の流域産物をお届けします。

【申し込み方法】

四万十川財団へ電話もしくはメールでご連絡ください。申込書をお送りいたします。

電話 0880-29-0200 / Mail office@shimanto.or.jp (担当:中野)

